

- 日時 2019年7月30日（火）13：30～16：00 ■場所 熊本市役所14階大ホール
- 出席者 伊東（龍）委員長・河島委員・坂本委員・永田委員・西嶋委員・服部委員・廣瀬委員・松田委員・毛利委員・山尾委員・山田委員 計10名
 ※伊東（麗）委員、今村委員、松田委員は欠席

【千葉城地区（JT跡地・NHK跡地）について】

委員	委員意見	◆当日の回答
西嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・期限が限られたタイムスケジュールがあるのか。 ・土地・建物ともに国からの補助があるなら、施設の整備に土地の契約が引っ張られるのか。そうでなければ、施設の整備に十分な時間があるのではないか。 ・ガイダンス施設や管理施設などの必要性は、どの委員も否定していない。ただ設置場所が問題。いくつかの候補地があって、利点・欠点の整理がなされて絞られていくのが一般的な議論。候補地の選定に、これらの検討がなされたうえでのNHK跡地なのか。 	<p>◆覚書には売却に向けた協議期限が存在する。JT跡地は2020年4月末、NHK跡地は2021年4月まで。</p> <p>◆引っ張られるものではない。議論する時間は十分にある。</p> <p>◇資料4 特別史跡内外の利用状況について</p> <p>◇資料5 管理機能・調査研究機能の現状について</p>
河島	<ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館や県立美術館分館など熊本県と熊本市が共同で開発を行うのはいかがか。 ・千葉城の敷地は、子どもたちでもわかる中世城の施設が必要では。 ・ガイダンス施設と調査研究部門が一緒であるのが理想である。しかしNHK跡地は狭く、無理ではないか。三の丸駐車場や合同庁舎跡地ではいかがか。 	<p>◇資料3 NHK跡地の整備について</p>
毛利	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の分析は、まだ人数が少ない。熊本城の整備を進めるのに500人への調査のみでは少なすぎる。2000人は必要ではないか。熊本城への来城者では熊本城に関心のある方のみになる。県外・市外も含め数を増やして総合的な意見にしてほしい。 ・NHK跡地は、既存の建物を再利用するのか、それとも一度更地にして新築を考えているのか。 ・特別史跡内に史実に基づかない建物は認められないと考える。 	<p>◆アンケートは夏休みを利用して数を増やしたい。意見をもっと広く集めたい。</p> <p>◇資料2 アンケートの調査結果</p> <p>◆NHK跡地の建物は、一度解体・更地にしたあと、史跡整備をと考えている。</p>

毛利	<ul style="list-style-type: none"> 宮本武蔵の件、井戸に根拠はあるのか。二天記の記述は疑わしい。居住地を調べる術はあるのか。 	<p>◇資料3 NHK 跡地の整備について</p> <p>◆武蔵の居住地は、絵図では特定できない。</p>
伊東 (龍)	<ul style="list-style-type: none"> 原則、史跡内に新規建物は造らないとなっている。しかし、委員からは管理・調査研究施設は早く造るべきとの意見もある。 千葉城の整備は基本構想に則っているということで、構想は議論した成果であるため、これを尊重すべき。しかし本日いただいた意見もあるので、引き続き検討してほしい。 	<p>◆ガイダンス施設や管理施設が必要。また既存の展示施設でカバーしきれない部分、復旧を進める上での調査研究センターの情報発信も必要と考えている。基本構想にはこれらを示した。他の施設との分担を考慮して、案を作りたい。</p> <p>◇資料3 NHK 跡地の整備について</p>
坂本	<ul style="list-style-type: none"> 今後20年の熊本城の復旧過程を見せるなら、ガイダンス施設は必要。熊本県で「震災ミュージアム構想」を進めており、回遊の形で連携する構想になっている。熊本地震に関する情報を発信していくのなら、今回の案の中に熊本市が連携できることを考えてほしい。 	<p>◇資料3 NHK 跡地の整備について</p>
山尾	<ul style="list-style-type: none"> 「復旧基本計画」における、復旧過程の中での公開にかかる活用はどこかでしないといけない。早急に必要だろう。20年かける復旧の過程を学ぶ・見せる・研究する施設が必要。 ガイダンス施設の位置付けを地震復旧に特化していけば良い。 市立博物館や県立美術館など他施設との意見交換の場があってもいい。委員会で議論を完結しなくても良いのではないかな。 	<p>◇資料3 NHK 跡地の整備について</p>
山田	<ul style="list-style-type: none"> 復旧の情報発信の場としてのガイダンス施設は必要。特化した施設の方が県外の方や学校教育に関しても必要となる。市内・県内の子どもたちが来るような場所になってほしい。 ガイダンス施設と調査研究部門は分けないほうが良い。調査研究の最新の情報をガイダンス施設にアップデートしていく。10年20年と情報を更新していくには、一緒の方が良い。メリットが多い。 	<p>◇資料3 NHK 跡地の整備について</p>
服部	<ul style="list-style-type: none"> 史跡への追加理由は近世武家屋敷。理由を考慮すると絵図に基づいた状況を分かりやすく示すべき。 通常、城は高い所が有利なので、隣に高い山があればそちらが本城となるはず。当時の千葉城は隈本城の出城だったと思う。千葉城については資料が少ないので、中世の城として復元することは難しい。 ガイダンス施設は、便益施設よりは展示資料が加わっているが、歴史資料館や博物館などとは全く別のメニューなので、レベルが格下と想定される。参考事例2件も博物館・資料館にはいかないレベル。 調査研究センターはやはり必要。美術館や城彩苑は別の目的がある。熊本城そのものを見せて解説する施設はどこかに必要。その候補地が今回、特別史跡内にあるのであれば、8割補助から外すのは普通。 	<p>◇資料3 NHK 跡地の整備について</p>

【特別公開について】

委員	委員意見	◆当日の回答
永田	・特別公開第1弾について、土曜日は開催しないのか。	◆原則、日曜と祝日のみ公開。土曜日は復旧工事を行っている。10月5日やラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権などに合わせてその時だけは特別に公開する。
西嶋	・特別公開第2弾の話があったが、こちらも事前予約は検討しないのか。運用を何年かした後、夜間での観光など、幅広い活用を検討してほしい。	◆第1弾同様ルート設定が厳しいので、事前予約はしない。
広瀬	・シャトルバスの増便は検討しているのか。高齢者の観光客が多いので、できればしてほしい。	◆現在シャトルバスは1台だが、特別公開に合わせて1～2台の増便を検討している。
毛利	・ボランティアガイドやガイドの方が、観光客に代わり団体の代表者として、列に並ぶのは大丈夫なのか。	◆入園券購入のみ可能。その後の入場については観光客の皆さんは列に並んでいただくのが前提。
河島	・特別公開第1弾について、天守閣前広場はどれだけ開放されるのか。天守閣には入れるのか。	◆特別公開第1弾は、大天守の外観復旧を観ていただく。天守閣に入ることができるのは2021年春。天守閣前広場は工事区画でもあり、広場の3分の1ほどを開放できる。天守閣内部に入ることはできない。